

平成 16 年 12 月 20 日

浅野 真

ヤナガセ再生プロジェクト

プロジェクト運営母体の組成

NPO は営利、非営利の業務を受託することが可能ゆえ、ヤナガセ再生プロジェクトの運営主体に最も適した組織である。予算と権限を与え、今までに討議されてきた再生案および新規案を具体化し実行する部隊の組成が必須。

例) NPO 法人 ヤナガセ再生プロジェクト (仮称)

目的: 10 ~ 20 年後のヤナガセをビジョンとして掲げ、ヤナガセ再生のためのあらゆる仕掛けの構築とプロジェクトの完遂を目的とする。

人員: PM 1 名 + 4 名、事務員 2 名

運営費は、協賛金、web 上のショッピングモール運営費用、行政からの補助金、収益事業で賄う。

事業内容 (案)

事業内容	目的、具体例など
(理念共有事業) ヤナガセ憲章の創設と運営・管理	風俗店の参入食い止め、外観などに関する規定を定める。営利と非営利のバランスを確保。
(計画策定事業) ヤナガセ再生 10 年プランの策定	ハード、ソフト両方の予算及びスケジュールの策定 (民間案件と公共案件の峻別) <ul style="list-style-type: none">・ 公共、民間施設のマッピングと区画整理・ 岐阜駅との連携、メインストリート再生・ 駐車場問題の解決・ 衣食住遊完備のまちづくり
(事業投資事業) <u>公共案件</u> PFI 事業及び PFI 債券の組成	PFI 案件の発掘と企画を行い、行政に答申。 入札が行われ、落札した事業体に対し、 PFI 債券の組成を受託。

民間案件

ヤナガセファンドの組成と運営

特定の民間プロジェクトに対しファンドを組成し投資を行う。ヤナガセファンドとして販売。

例：魅力ある1本の通り（50m）または1区画の再生、東京駅地下にある黒塚横丁など

商店街活性化事業

ヤナガセ商店街の活性化

web上のショッピングモール運営・管理（割引券の販売、ビデオインタビュー）
各種イベントの主催（他のNPOとの連携）

財政的な問題をいかに克服するか？

- ・国からの補助はどれだけ出るのか？

プロジェクト費用	1000億	500億	100億
国負担	400億	200億	40億
地方負担	600億	300億	60億

- ・国からの支援の名目と支援

民間が行う市街地開発事業

地権者と民間事業者が共同で設立する
土地区画整理会社への支援（補助及び無利子貸付）

まちづくり交付金

道路、地域交流センター、土地区画整理事業、
高齢者向け優良賃貸住宅、賃貸住宅、公営住宅

まち再生まるごと支援プラン
（国交省都市・地域整備局）

住民参加型まちづくりファンド
空き店舗のリニューアル

財政赤字を抱える岐阜市および岐阜県に地方負担分を全額任せることは困難であり、PFI債券、民間ファンドでお金を用意し行政を動かす位の迫力が必要。

参 考

1. ヤナガセ住人を増やすのは簡単か？

		@ 2 0 0 0 万	@ 3 0 0 0 万
2万人 ÷ 4 =	5,000戸	1,000億	1,500億
1万人 ÷ 4 =	2,500戸	500億	750億
5千人 ÷ 4 =	1,250戸	300億	375億

2. P F I市場規模推定

年 度	行政投資額	P F I市場規模	(単位：億円)
			比率
2003年度	475,000	896	0.2%
2004年度	451,250	3,671	0.8%
2005年度	428,688	8,141	1.9%
2006年度	407,253	15,308	3.8%
2007年度	386,890	21,565	5.6%
2008年度	375,284	27,269	7.3%
2009年度	371,531	29,088	7.8%
2010年度	367,816	30,120	8.2%

(出所：矢野経済研究所 公共事業におけるPFIの
現状と将来展望 2002年版)